

挑戦を支える基盤

2024年度に定めたCTCグループの新たな企業理念は「Challenging Tomorrow's Changes 変わっていく。挑んでいく。」
様々な社会課題に直面する今、社会のすべての人々にとってより良い未来を実現したい。
私たちはマテリアリティを定め、日々の業務を通じて挑んでいく。

CONTENTS

- 067 企業理念
- 068 サステナビリティ

Chapter_04





CHALLENGING TOMORROW'S CHANGES

変わっていく。
挑んでいく。

私たちは、世界の変化とともにある。
技を磨き、どんな困難にも挑戦していく。
地球と社会とすべての人々の良い未来に、
テクノロジーで貢献するために。

企業理念

サステナビリティ方針

技術と技(わざ)を未来のために

CTCグループは、デジタル技術とそれを活かす技で、
多くの人々がその恩恵を受けられる社会づくりに取り組みます。

ITの可能性をひろげることにより、地球環境と社会における課題の解決に貢献し、
持続可能な社会の実現を目指します。

マテリアリティ (重要課題)

ITを通じた 社会課題の解決

- 先進技術のたゆまぬ追求
- 様々なパートナーとのビジネス共創の推進
- 安心して安全なITサービスの提供

考え方

企業理念の実現に直接結びつくマテリアリティ。地球と社会とすべての人々の良い未来への貢献に向け、CTCグループの事業の根幹である、ITへの携わり方を示すもの

貢献する主なSDGs



明日を支える 人材の創出

- 多様なプロフェッショナルの育成
- 互いを尊重し高めあえる風土の醸成
- 未来を創る人材教育への貢献

考え方

企業理念を叶え続ける源となるマテリアリティ。CTCグループおよび社会の最重要資本である、人材に関する考え方を示すもの

貢献する主なSDGs



責任ある 企業活動の実行

- 実効性あるガバナンスの強化
- 気候変動対応への貢献
- 一人ひとりの責任ある行動の実践

考え方

全ての基盤となるマテリアリティ。企業活動を成す上で、企業として、社会の一員として、それに参画する一人ひとりの社員として、それぞれの在り方を示し、約束するもの

貢献する主なSDGs



国連グローバル・コンパクトへの参加

CTCグループは、2015年7月より国際社会における持続的な成長を実現するための取り組みである国連グローバル・コンパクトに参加しています。国連グローバル・コンパクトが掲げる「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」からなる10原則に則り、持続可能な社会の実現を目指していきます。

<https://www.ctc-g.co.jp/company/sustainability/management/global-compact.html>



ITを通じた社会課題の解決

トレーサビリティ



サプライチェーン上の資源の安定的な調達・供給と流通の透明性確保のため、ブロックチェーン技術を用いたトレーサビリティシステムを構築

デジタルツイン



シミュレーション技術を活用し、機器・人・物などの情報をサイバー空間でリアルタイムに再現。産業のイノベーション促進に貢献

ID管理



IDの様々な提供元と各種サービスをつなぐID統合・管理プラットフォームの提供を通して、簡単な操作による非対面での本人確認を実現

再生可能エネルギー



太陽光や風力エネルギーを有効に活用するため、シミュレーションの知見を活かし発電量予測や需給管理を支援

GXサービス



企業によるGX推進を進める上での戦略策定から実行支援までをサービスとして提供。GHG排出量の見える化と削減への最適な進め方を提案

資源循環



産業廃棄物の処理状況や運搬時のCO₂排出量を可視化する資源循環プラットフォームを提供。処理の効率化で資源の再利用を促進

CTCグループのGX推進

ITを通じた社会課題の解決の一つがグリーントランスフォーメーション(GX)ソリューションの提供です。再生可能エネルギーやマテリアルズ・インフォマティクス(MI)の分野などで先進の取り組みを進めています。

攻めと守りのGXを推進



GX支援の全体像



明日を支える人材の創出 ～未来を創る人材教育への貢献～

CTCグループはIT企業の社会的責任として、これまでの企業活動で培われてきた技術、ノウハウを未来の人材の糧となるよう継承し、次世代のIT人材の育成に貢献しています。



小学校5、6年生を対象に、プログラミングの思考を学ぶ前授業「みんなでチャレンジ! ITエンジニア」を開催し、次世代の人材育成に貢献しています。2018年度から2023年度まで延べ2,593名の子どもたちが参加しています。

「未来実現IT教室」を運営



「神山まるごと高専」を支援



2023年4月に徳島県神山町に開校した、神山まるごと高専をスカラーシップパートナーとして支援しています。一般社団法人神山まるごと奨学金基金に10億円を拠出すると共に、奨学生とのコラボレーション活動などを通して、自ら課題を発見し「モノをつくる力で、コトを起こす」人材の育成に貢献しています。



「キッズニア福岡」にパビリオンを出展

© KCJ GROUP

KCJ GROUP株式会社が企画・運営することの職業・社会体験施設「キッズニア福岡」の先端技術エリアに、2023年7月、「シミュレーションテクノロジーセンター」のパビリオンを出展しました。地震や津波などの災害を想定したシミュレーション技術を体験することで、シミュレーション技術が人々の安全な暮らしを支え、社会の様々な場所で役に立っていることを学びます。

責任ある企業活動の実行 ～気候変動対応への貢献～

持続可能な地球環境を次世代にも引き継いでいくために、エネルギー使用量の削減や資源の有効活用を推進し、環境改善活動に取り組んでいます。

2050 CTCグループ環境宣言 (基準年:2022年度)

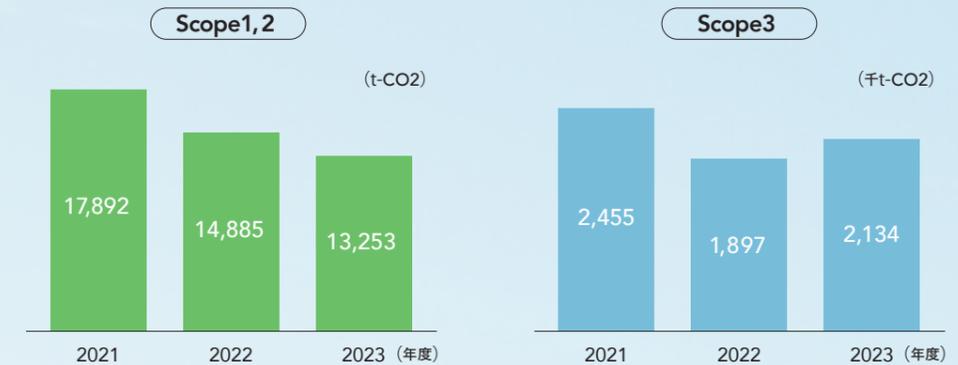
短期目標	<ul style="list-style-type: none"> Scope1, 2 : 2030年度までに50%削減 Scope3 : 2030年度までに25%削減
長期目標	<ul style="list-style-type: none"> Scope1, 2 : 2040年度までに90%削減 2050年までにネットゼロ (Scope1, 2, 3)※

※ネットゼロ : Scope1, 2, 3の排出総量を90%以上削減、かつ残った排出量については吸収/貯留への投資などにより中和させること (Scope3は、2050年までに90%削減)。



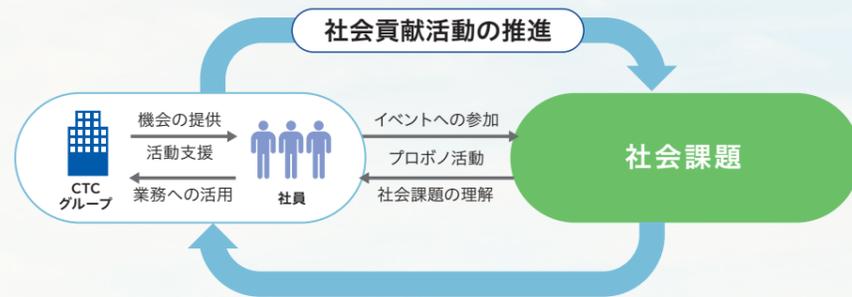
SBT (Science Based Targets)
SBTイニシアティブからパリ協定で定められている水準と整合した「科学的根拠に基づく温室効果ガス排出量削減目標」として、2030年度までの達成を目指す「短期目標」と、2050年までにネットゼロを含む「長期目標」の認定を取得しました。

温室効果ガス排出量実績 (連結)



社会貢献活動の考え方

CTCグループは、つなぎ組み合わせる力でビジネスを発展させてきました。社会貢献活動でも様々なパートナーとつながり、連携しながら、本業を通じた社会課題の解決を目指します。社員が社会課題に触れる機会を提供すると共に、ボランティア休暇や副業など、活動を支援する制度を用意しています。



公益財団法人CTC未来財団は、明日を変えるITの可能性に挑み、持続可能な夢のある豊かな社会の実現に貢献する「次世代の育成支援」を目的にCTCが資金を拠出し設立しました。3つの公益事業を通じて、次世代を担う児童・青少年への支援活動を行っています。



プログラミングワークショップ



奨学生交流会



大学などへの備品購入資金の助成